

## 2018年度 入試要項 (予定)

### 入学試験概要

入試	区分	定員	科目	入試日
前期	A	約90名 ▼ クラス制	小論文 + 面接	1月13日(土) A・B：午前 C：午後
	B		3科 国算：各50分・各100点 理：40分・50点 ※面接	
	C		2科 国算：各50分・各100点	
後期	C	[特進アドバンスト] 約30名(1クラス)	午後 2科 国算：各50分・各100点	1月14日(日) B：午前 C：午後
	B	[特進ベーシック] 約60名(2クラス)	適性テスト 国算：各50分・各100点 (300点満点) 理社複合問題：50分・100点	
	C		午後 2科 国算：各50分・各100点	

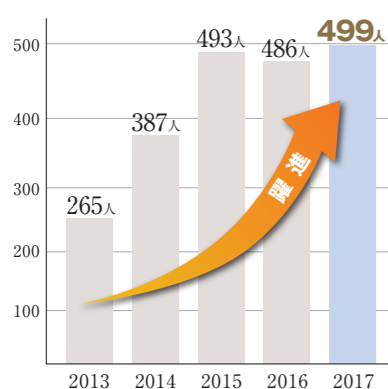
●前期A:「英語重視型」エントリーを導入。

### 加算点

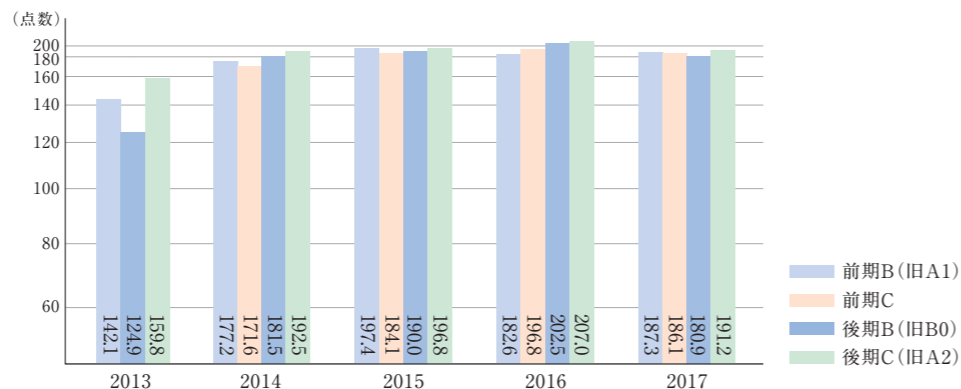
加算該当級	実用英語 技能検定(英検)
準2級以上	30点
3級	20点
4級	10点

※前期A並びに前期Bは面接試験(約5分程度)、それ以外の受験生にはアンケートを実施します。  
※前期Bは3科又は2科選択とし、3科得点を1.2倍・2科得点を1.5倍して300点満点で判定します。  
※前期C並びに後期Cは2科得点を1.5倍して300点満点で判定します。

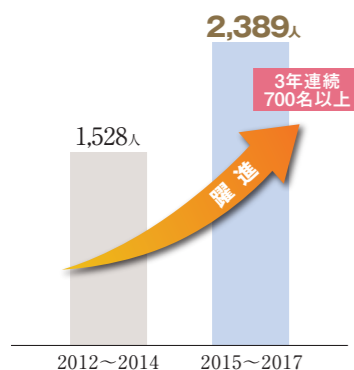
### 志願者数推移



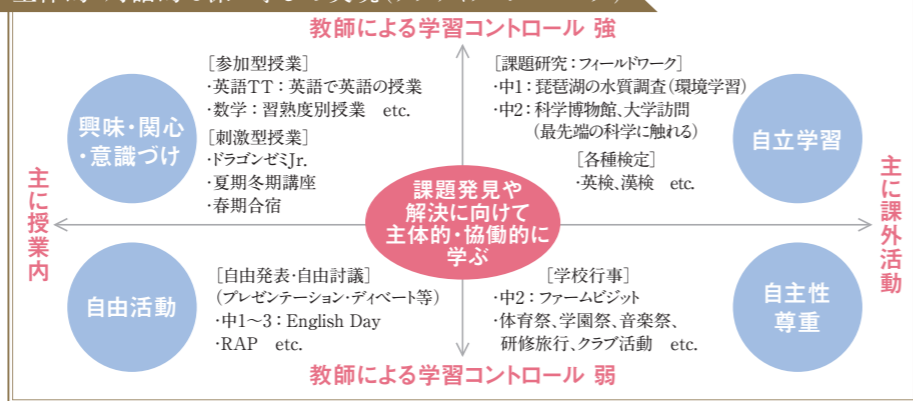
### 入学試験 平均点比較 (300点換算)



### ドラゴンテスト受験者数推移



### 主体的・対話的で深い学びの実現(アクティブ・ラーニング)



## 2017年度 大学合格実績

国公立 48名 関関同立+早慶上理 77名 龍谷大学 265名 ※合格者数は延べ人数です(過年度生を含みます)。

2017  
龍谷大学付属  
平安に出会える日

7月 2日(日) 第1回 オープンキャンパス	13:00~	11月 11日(土) ドラゴンテスト返却会	
9月 18日(月・祝) 第2回 オープンキャンパス	9:30~	11月 18日(土) ドラゴンテスト算数講座	
10月 9日(月・祝) 第1回 学校説明会	10:00~	12月 10日(日) 第2回 学校説明会	10:00~
11月 5日(日) ドラゴンテスト			

## 龍谷大学付属平安中学校

〒600-8267 京都市下京区大宮通七条上ル御器屋町30 TEL:075-361-4231(代) http://www.heian.ed.jp

# 2018

## 龍谷大学付属平安中学校

【ダイジェスト版】

詳細は8月完成予定の学校案内をご覧ください。

# 改革進む! 龍谷大学付属平安中学校

2012年度から中高六ヶ年一貫教育(中:中高一貫コース、高:一貫選抜コース)を通じて、国公立、並びに難関私立大学への現役合格をめざすコンセプトになっています。

2015年度からは到達度別のクラス制を導入、“上位30%に合わせた指導に伴う中位努力と下位目覚め”をモットーに、ピア効果(到達度が高い生徒がいる中で、互いに切磋琢磨することで生まれる効果)をねらいます。

また、週6日制に加えて、7~8限を利用した「ドラゴンゼミJr.」、「チューター制度」によるフォローアップ体制、eラーニング活用による指名補習など、到達度をおさえながら“質”重視の“たっぷり、ゆっくり、しっかり”の教育活動に変わりはありません。

さらに、カリキュラム・マネジメント委員会が中心となり、「模試分析会」や「進路ガイダンス」を徹底し、より組織的な学習指導・進路指導を徹底することによって生徒一人ひとりの“夢の実現”をサポートします。

## 平安独自のまなびのシステム

### 『たっぷり・ゆっくり・しっかり』の実現

週6日制に加えて、7~8限目を利用したドラゴンゼミJr.(週3回の英数国特別授業)で『たっぷり』授業時間を確保します。授業展開は、生徒の反応を見ながら『ゆっくり』進め、「深度掘り下げ(質重視)」をはかり、『しっかり』理解するまで完全サポートすることで、無理のない「進度先取り」をするシステムとなっています。

### ステップアップテスト(SUT)

定期考査の代わりに、ステップアップテスト(SUT)という独自の学習システムを実施しています。5教科についてより短いスパンで学習到達度を確認し、積み残しがなくなるようにしているのが特徴です。基準点に達しない場合、わかるまでサポートするシステムになっています。また、到達度確認テストや前後期考査を通じて入試に対応できる学力も養います。

中高六ヶ年一貫教育の流れ

## 基礎力養成期

中学1年~2年を「基礎力養成期」とし、この期間に中学校で身につけるべき基礎学力を養成します。

**中学入学段階**では、「特進アドバンスト(特進A)」を1クラス、定員約30名を予定しています。入試は同一問題とし、「特進A」から「特進ベーシック(特進B)」への回し合格を認めます。

**中学2年**では、クラス編成を行い、「特進B」から「特進A」へ約30名引き上げ、「特進A」を2クラスに再編成し、ピア効果を狙います。なお、「特進A」の編成は到達度の均等割とします。また、例外を除き、入学時「特進A」であった生徒を「特進B」に回すことはありません。

- 進度先取り+深度掘り下げ
- ドラゴンゼミJr.
- ステップアップテスト(SUT)
- チューター制とeラーニング

## 応用力養成期

**中学3年**では、「特進A」2クラスを再度均等割して「特進スーパーアドバンスト(特進S)」とし、「特進B」は「特進A」としてクラス編成します。身につけた基礎学力、学習習慣の上に先取り学習を進め、英語、数学、国語の3教科は高校の教育課程に入ります。必要に応じて習熟度別授業を行い、到達度に達していない教科については中学校の教育課程を反復します。

**高校進級時**では、「一貫選抜コース」となりますが、学習到達度に合わせてクラスを再編成します。

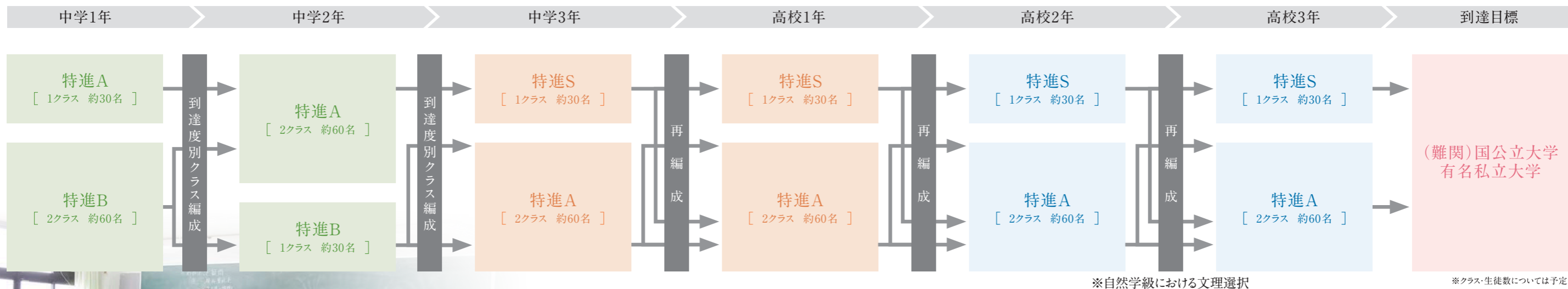
- わかる授業の深化
- 伸び率引き上げ
- キャリア・プランと進路ガイダンス

## 発展と完成期

**高校2年**から自然学級編成で文理選択を行います。クラス編成は「一貫選抜特進S」1クラス、「一貫選抜特進A」2クラスを予定しています(学習到達度によってこの限りではありません)。中高六ヶ年一貫の特性を活かしてクラス編成は6年を通して3クラス内での移動のみになりますが、理科、社会など、特定の選択科目によっては「選抜特進コース」生と一緒に学習することもあります。授業進度は、英語、数学(IIBまで)、国語を高校2年でほぼ終了します。

**高校3年**では5教科7科目に対応できるような授業を行います。また、大学入学希望者学力評価テスト(仮称)を始めとするマーク式答案作成演習と並行して、国公立大学2次対策である記述式答案作成演習を中心に授業展開し、第一志望大学合格を目指します。

- 受験対策ストラテジー
- 実践演習とフォローアップ講習
- 大学受験対策講座「ドラゴンゼミ」



## 中学3大行事



音楽祭



体育祭



English Day